

主催：「看護職者のための糖尿病女性のリプロダクティブヘルスに関する支援マニュアルの開発」研究班
共催：特定非営利活動法人日本 IDDM ネットワーク (主任研究者 田中佳代)

糖尿病を持つ女性は、性ホルモンや妊娠に関連したホルモンが血糖値に影響を及ぼすため、月経周期や妊娠・出産の状況に応じて血糖をコントロールすることが必要になります。しかし、糖尿病女性の性や妊娠・出産に関わる支援システムはまだ十分整備されておらず、糖尿病女性は相談できる場や機会がなく悩みを抱えている現状が私達の調査で明らかになっています。糖尿病を持つ女性の性に関わる生活と妊娠・出産がより良くあるための支援にはどのようなことが求められるのでしょうか？

今回は、女性の看護職者の皆さんと1型糖尿病女性・家族が共に性と妊娠・出産のことを学び、お互いに思っ
ていらっしやること、看護職者に期待されることを一緒に語り合いませんか？みなさんの力で1型糖尿病
を持つ女性のこれからの性と妊娠・出産をより良いものに変えていきましょう！



平成22年7月18日(日)10:00~16:00(9:30開場)

東北大学病院 第5会議室(東病棟4階 看護管理室前)

(仙台市青葉区星陵町1-1 TEL080-5223-4473 <http://www.hosp.tohoku.ac.jp/koutuu/koutuu.html>)

* 会場の詳細は、参加申し込み受付後に、郵送もしくはFAXまたはメールにてご案内致します



1型糖尿病を持つ女性と看護職者のためのセミナー

「共に語ろう糖尿病を持つ女性の性と妊娠・出産

～糖尿病女性が、看護職者が、思うこと～

* 本セミナーは日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位(2群2単位)を取得予定です。

【対象】

1型糖尿病を持つ女性もしくはそのお母様	} 20名(先着順)
奥様が1型糖尿病でいらっしやるご夫婦	
女性の看護職者(看護師・助産師)	20名(先着順)

【内容】

【午前】 ☆1型糖尿病女性の性や妊娠・出産の現状(講演：看護大学講師)
☆1型糖尿病と妊娠・出産の実際(講演：内科医師)
☆参加者同士のおしゃべりタイム

【午後】 ☆妊娠・出産経験を通して思っていること(対談：出産体験者)
☆1型糖尿病女性・ご家族と看護職者のグループディスカッション

予定している主なディスカッションのテーマ：①月経について ②性に関すること
③将来の妊娠・出産 ④今からの計画妊娠について ⑤娘さんの将来の妊娠・出産等
※参加希望のディスカッションのテーマを上記の①～⑤の中から選択し、申込書にお書き下さい

参加費：参加費：日本 IDDM ネットワーク会員 1000円 日本 IDDM ネットワーク非会員 1500円

参加費のうち500円を1型糖尿病研究基金にあて、1型糖尿病根治に向けた研究に活用致します。1年に1件100万円の研究費助成の実現！～「治らない病気」から「治る病気」への取り組み～にご協力をお願い致します

申し込み方法：申込書の項目をご記入の上、E-mail、FAX、または郵送にて下記までお申し込み下さい。

久留米大学医学部看護学科 母性看護学 田中佳代 〒830-0003 福岡県久留米市東櫛原町 777-1
久留米大学医学部看護学科 FAX 0942-31-7715 TEL 0942-31-7714 E-mail: m2a2k2i2@med.kurume-u.ac.jp

☆☆☆ 平成22年7月18日(日)1型糖尿病女性と看護職者のためのセミナー申込書 ☆☆☆

(ふりがな)		E-mail	
氏名			
立場	看護師(科)・助産師・その他()		
所属	※医療機関名	住所	
	日本 IDDM ネットワーク会員・非会員	TELorFAX	
希望するディスカッションのテーマ	第一希望() 第二希望() 第三希望()	上記の番号をお書き下さい	

* お預かりした個人情報は当研究班・日本 IDDM ネットワークからの連絡のみに使用し、ご本人の承諾なしに第三者に提供する事はございません。
* 今回のセミナーは平成22年度 文部科学省調査科学研究費(基盤研究C)の補助を受け、実施しております。